



「メセナアワード 2019」受賞 7 活動決定 メセナ大賞は (株) 竹中工務店 木造モダニズム建築「聴竹居」による社会貢献と建築文化発信

本件は 10 月 18 日 (金) 15:00、文部科学省・国土交通省各記者クラブにて資料を配布しています

公益社団法人企業メセナ協議会(東京都港区芝 5-3-2、理事長:尾崎元規)は、「メセナアワード 2019」の受賞活動 7 件(「メセナ大賞」1 件、「優秀賞」5 件、「特別賞:文化庁長官賞」1 件)を決定しました。「メセナアワード」は、企業による芸術・文化を通じた社会創造の観点で特に優れた活動を顕彰するものです。

大賞の株式会社竹中工務店は、歴史的建造物の保存管理にとどまることなく、地域全体で取り組むことにより交流を創出し、地域文化の醸成に大きく寄与している活動が評価されました。そのほか優秀賞 5 件、特別賞 1 件についても、地域文化に根差したものや技術・ノウハウなど社業の関連性の高い活動など、継続により新たな文化や価値の創造につながる取り組みが選ばれました。

「メセナアワード 2019」 受賞活動 * 活動詳細は次頁を御覧ください 企業・団体名五十音順、()内は活動実施場所		
大賞	メセナ大賞	株式会社竹中工務店 (京都府) 木造モダニズム建築「聴竹居」による社会貢献と建築文化発信
優秀賞	アートやで中之島賞	京阪ホールディングス株式会社 (大阪府) 京阪電車中之島線なにわ橋駅「アートエリア B1(ビーワン)」 における社学・地域連携文化活動
	文具を超える文具賞	コクヨ株式会社 (東京都・大阪府・海外) 「コクヨデザインアワードプロダクト」プロジェクト
	耳を澄ませば 心に響く賞	日本ユニシス株式会社 (東京都) 川島成道コンサートプログラム
	世界と島で踊りま賞	株式会社パソナグループ (兵庫県) Awaji Art Circus 2018
	花とアートの 森あわせ賞	六花亭製菓株式会社 (北海道) 六花の森の企画・運営
特別賞	文化庁長官賞	キャノン株式会社 (東京都・静岡県・愛知県・奈良県) 綴プロジェクト



MECENAT
AWARDS
2019

Mécénat



(公社)企業メセナ協議会は
2020 年に 30 周年を迎えます

「メセナアワード 2019 贈呈式」

日時: 2019 年 11 月 20 日 (水)

14:00~17:00

会場: スパイラルホール(東京・青山)

※受賞各社には贈呈式にてトロフィーと表彰状が贈られます

「メセナアワード 2019」概要

❖ 選考対象活動:

日本国内に所在する企業や企業財団、またそれらの連合体が、2018年4月1日から2019年3月31日に実施したメセナ(芸術・文化振興による豊かな社会創造)活動で、「This is MECENAT 2018」認定活動 149 件(87 社・団体)を対象に選考。



メセナ大賞:(株)竹中工務店「聴竹居」

❖ 選考ポイント:

大賞 優秀賞	1. インパクト・貢献度・・・芸術・文化および社会に与えるインパクトや貢献度が高い 2. 関与度・・・活動を通じて社会・地域と深くかかわっている 3. 独自性・・・経営資源をメセナ活動に活かす工夫をしているなど、独自性がみられる 4. 継続性・・・活動に継続的に取り組んでいる、または活動の展開に意欲的である
特別賞 (文化庁長官賞)	自治体、公益法人、NPO、学校や社会福祉法人等の外部の団体と連携し、国民(地域住民、子どもたち等)の社会参加の機会をひらく取り組みや、「文化力」・「創造力」向上あるいは日本文化の海外発信に貢献する取り組みを顕彰。 ※特別賞(文化庁長官賞)は、文化庁担当者が選考に加わりました。

❖ 2019 年度審査委員:

原島 博(東京大学名誉教授) ※審査委員長

大谷能生(音楽家/批評家)/中島信也(東北新社取締役副社長/CMディレクター)

萩原なつ子(立教大学・大学院 教授/(認特)日本 NPO センター代表理事)/馬淵明子(国立西洋美術館長)

以上、敬称略・五十音順/尾崎元規(企業メセナ協議会理事長)

「メセナアワード」とは

企業によるメセナの充実と社会からの関心を高めることを目的に、1991 年「メセナ大賞」(2003 年より「メセナアワード」に改称)を創設しました。以来、前年度に実施されたメセナ(芸術・文化振興による豊かな社会創造)活動を対象に選考を行い、2018 年までに、全国各地の優れたメセナ活動 214 件を表彰しております。

● 「メセナアワード」ウェブサイト: <https://www.mecenat.or.jp/ja/award/>

● 「This is MECENAT」ウェブサイト: <https://mecenat-mark.org/>

■公益社団法人企業メセナ協議会

芸術・文化振興による社会創造を目的として、企業をはじめ文化に関わる団体が参加、協働する民間の公益法人。創造的で活力にあふれた社会、多様性を尊重する豊かな社会の実現に寄与すべく、企業メセナの推進を中心に、文化振興に関する調査・研究、認定・顕彰、助成、交流、発信等の事業を行う。

会長:高嶋達佳([株]電通 相談役)、理事長:尾崎元規(花王[株] 前取締役会会長)。

会員:151 社・団体(2019 年 10 月 1 日現在)。

【本件に関するお問合せ】

公益社団法人企業メセナ協議会 〒108-0014 東京都港区芝 5-3-2 アイセ芝ビル 8 階
| TEL:03-5439-4520 | FAX: 03-5439-4521 | E-mail:mecenat@mecenat.or.jp |
URL:<http://www.mecenat.or.jp> 広報:佐藤(華)/認定・顕彰担当:齊藤・川鍋

■「メセナアワード 2019」受賞活動の紹介

大 賞: メセナ大賞 株式会社竹中工務店 木造モダニズム建築「聴竹居」による社会貢献と建築文化発信

京都府大山崎町の天王山の麓にある「聴竹居」は、1928年に建てられた建築家・藤井厚二の自邸である。同氏は、竹中工務店の設計組織に在籍した後、海外視察で見聞した欧米の様式と日本の気候風土や自然環境を融合させた「環境工学」を研究し、「日本の住宅」の理想形を追求した。それらの研究成果をもとに日本の住宅の近代化を試み、木造モダニズム建築の傑作「聴竹居」に結実させている。

同社と藤井家とのかかわりは、20年以上前に遡る。貴重な住宅の保存活用のために、2000年に空き家となった「聴竹居」の実測調査を大阪本店設計部の有志で行い、2008年には管理体制を整えてウェブサイトを作成、予約制で一般公開を始めた。全国各地から見学者が徐々に訪れ、2013年には天皇皇后両陛下（当時）が行幸啓された。後世に残していくべき歴史的建造物として、創立120周年記念事業に位置づけ、2016年に土地・建物を譲り受けた。2017年には国の重要文化財に指定され、今では年間来場者が1万人を超えている。

ガイド付き見学対応を担うのは、地元住民で構成された一般社団法人「聴竹居倶楽部」である。日常的に建物の維持管理をしながら、新緑と紅葉の時期には予約なしで見学できるイベント「愛でる会」も開催し、地域全体で保存公開に努めている。また、大山崎町にある千利休の唯一現存する茶室・国宝「妙喜庵・待庵」をはじめ6つの重要文化財の所有者・管理者が語りあう場「大山崎町重要文化財ネットワーク」も設立され、地域での誇りや愛着も増している。

2018年は「聴竹居」竣工90年・藤井厚二生誕130年の記念に、「聴竹居」展を竹中大工道具館で開催。これからも、先人の工夫と知恵が息づく住まいを支え、建築文化の発信とともに、人と地域を未来へつないでいく。

【評価ポイント】

- 地域主体で歴史的建造物の保存と公開に取り組み、建築文化を発信している。
- 建物を通じた人と人との交流を育み、地域に対するシビックプライドを醸成している。



「新緑を愛でる会」では、青葉に彩られた前庭や建物内部を心ゆくまで楽しむことができる
(2019年・同社と聴竹居倶楽部スタッフ集合写真)



竹中大工道具館で開催された
「聴竹居 藤井厚二の木造モダニズム建築」展の会場風景

●企業プロフィール [2019年3月現在]

本社所在地	: 大阪府大阪市	資本金	: 500億円
創立年	: 1937年（創業1610年）	従業員数	: 7,500名（2019年1月現在）
主な事業	: 建築工事および土木工事に関する請負、設計および監理ほか		
URL	: https://www.takenaka.co.jp/		

■「メセナアワード 2019」受賞活動の紹介

優秀賞： アートやで中之島賞

京阪ホールディングス株式会社

京阪電車中之島線なにわ橋駅「アートエリア B1（ビーワン）」における
社学・地域連携文化活動

京阪ホールディングス、大阪大学、NPO 法人ダンスボックスの産学連携で、中之島線「なにわ橋」駅の地下空間を活用し、さまざまなプロジェクトを展開する「アートエリア B1」。2008 年の開設以降、美術館や若手クリエイターが育つ場が少ない点から、現代アートに主眼を置き、「コミュニケーション空間としての駅」を目指して取り組んでいる。2015 年には管理体制を整え、一般社団法人を創設した。

440 m²のスペースには、定期的に開催する参加型の対話プログラム「ラボカフェ」をはじめ、春と秋には主催プログラムを実施している。時事的なテーマを研究・探索した現代アートを展示する「サーチプロジェクト」や、2010 年から継続する「鉄道芸術祭」では、海外アーティストの滞在制作や、プログラムの一つに電車公演を開催。京阪電車を臨時ダイヤで運行し、2018 年は「ラジオになろうとする電車」をテーマに、ラジオブースに見立てた車両で音楽ライブや落語などの多彩なコンテンツを展開、実験的なプログラムを行った。

さらに開設 10 周年を迎え、新たに「クリエイティブ・アイランド・ラボ 中之島」プロジェクトをスタート。中之島の文化ネットワークの構築と創造的活用を目指し、アーティストや研究者によるフィールドリサーチや、周辺の美術館やホールなど 19 の文化施設・団体と連携した鑑賞ツアーや対話プログラムなどを企画実施した。地域の文化醸成に向けて、運営する三者の強みを活かし、アートエリア B1 がハブ機能を果たしている。

将来的には、「中之島学術芸術祭（仮称）」の開催も予定。駅空間における実験的なプロジェクトと地域とのネットワークの両輪で、中之島のアートの輪を広げていく。

【評価ポイント】

- 過去の受賞から 10 年を経て、実験的な取り組みから多様なアートプロジェクトへ発展している。
- 産学連携の強みを活かし、企業や行政のみならず、文化施設などとのネットワークを広げ、地域振興に貢献している。



中之島建築リバークルーズ



鉄道芸術祭 vol.8「超・都市計画」展覧会風景
撮影：守屋友樹

●企業プロフィール [2019 年 3 月現在]

本社所在地	: 大阪府大阪市	資本金	: 514 億円
創立年	: 1949 年（創業 1906 年）	従業員数	: 145 名
主な事業	: 運輸業、不動産業、流通業、レジャー・サービス業ほか		
URL	: https://www.keihan-holdings.co.jp/		

■「メセナアワード 2019」受賞活動の紹介

優秀賞： 文具を超える文具賞

コクヨ株式会社

「コクヨデザインアワードプロダクト」プロジェクト

コクヨデザインアワードは、コクヨが 2002 年より行っている国際コンペティションである。ユーザー視点のものづくりの推進を目的とした活動で、商品デザインを広くユーザーから集めて受賞作品の製品化を目指している。

募集対象は、同社の既存カテゴリーの文具・家具だけでなく「働く、学ぶ、暮らすシーンで用いる文具・家具・道具全般」となっている。アワードの開始当初は機能的価値を持つ作品が評価される傾向にあったが、近年は暮らしの中に新しい価値を見出せることが評価のポイントになっている。

毎年異なるテーマが設定されており、2018 年のテーマは「BEYOND BOUNDARIES」。グランプリを受賞したのは「音色(ねいろ)鉛筆で描く世界」で、鉛筆に専用のホルダーを装着することで紙と鉛筆の摩擦音を増幅させ、「視覚情報を伴わずに機能する文具」「楽器のように音を楽しむ文具」といった新しい文具の展開を探求する作品である。

2015 年からは「コクヨデザインアワードプロダクト」のブランドを立ち上げ、同社と受賞デザイナーと新規開拓した地場の生産工場で協業して、高い品質かつ 300 個という少ない製品ロット数で受賞作品の製品化を実現するプロセスを構築した。プロジェクトで開発された製品は同社の直営店舗と公式通販で販売されている。

このプロジェクトを通して、同社は新しい商品カテゴリーにトライアルする機会を持ち、受賞デザイナーにはリアルな市場で自分のデザインの価値を知ることができる機会を提供している。

【評価ポイント】

- 企業の資源を活用し、広くアイデアを募集して新しい文具・製品への挑戦の機会をつくっている。
- 時代に合わせたテーマを設け、既成の概念を超えた文具の枠にとらわれない製品の開発を試みている。



2002 年のスタート以来、18 作品の商品化を実現している



2018 年の表彰式の様子

●企業プロフィール [2018 年 12 月末現在]

本社所在地	: 大阪府大阪市	資本金	: 158 億円
創立年	: 1905 年	従業員数	: 連結 : 6,784 名、単体 : 2,019 名
主な事業	: 文具・オフィス家具製造販売、空間デザイン・コンサルティング		
URL	: https://www.kokuyo.co.jp/		

■「メセナアワード 2019」受賞活動の紹介

優秀賞： 耳を澄ませば心に響く賞 日本ユニシス株式会社 川島成道コンサートプログラム

日本ユニシスは、医療・福祉・教育分野でも活動するヴァイオリニストの川島成道氏に共鳴し、1998年のデビュー時から支援を続けるとともに、パートナーシップを組んでさまざまな社会貢献活動を行っている。

1998年の川島氏初ソロリサイタルの際、川島氏が視覚障がいを持つことから、同じ障がいを持つ方々をコンサートに招待した。その後もコンサートへの招待を継続し、2005年からは毎年「川島成道ニューイヤーコンサート」に100～150名の方を招待している。事前に講習を受けた日本ユニシスグループの社員ボランティアが招待者の自宅から会場までの送迎や会場内での誘導サポートなど支援を行い、一般の来場者とともに音楽を楽しむ場を設けている。

「川島成道チャリティコンサート」は2001年に社内コンサートとしてスタートし、2015年に豊洲シビックセンターホールがオープンしたことをきっかけに、地域向けの体験型コンサートとして毎年開催している。会場では、アイマスクをつけて演奏を鑑賞する「視覚にたよらない美的体験」のほか、日本盲導犬協会との連携により「視覚障がいや盲導犬について知る講座」も実施している。他にも福祉団体の出店や、NPOの協力のもと「コンサートパンフレットの音声読み上げ体験」などを行っている。社員ボランティアに加え、近隣団体の社員や職員もボランティアとして参加しており、多くの団体と協働してコンサートを運営している。

本コンサートは、来場者が音楽を楽しみながら多様な人々と出会う場として、着実に共感の輪を広げている。

【評価ポイント】

- 20年以上の長きにわたり川島成道氏とパートナーシップを組み、音楽を通じて社会貢献活動に取り組んでいる。
- さまざまな団体と協働し、多様な出会いの場を提供している。



「ニューイヤーコンサート」でのステージの様子



「チャリティコンサート」では毎回さまざまな団体と協働している

●企業プロフィール [2019年3月31日現在]

本社所在地	: 東京都江東区	資本金	: 54億8,317万円
創立年	: 1958年	従業員数	: 連結: 7,740名、単体: 4,350名
主な事業	: ICTサービス企業		
URL	: https://www.unisys.co.jp/		

■「メセナアワード 2019」受賞活動の紹介

優秀賞： 世界と島で踊りま賞 株式会社パソナグループ Awaji Art Circus 2018

パソナグループは、創業以来「社会の問題点を解決する」という企業理念のもと、“人を活かす”さまざまなサービスを提供している。2003 年からは担い手不足に直面する農業の人材育成を始めたことを皮切りに、淡路島や京丹後、岡山などで“人材誘致”による地方創生事業を開始。そして島内への観光客誘致や、島の魅力を世界に発信する取り組みの一つとして、2015 年から国際パフォーミングアーツフェスティバル「Awaji Art Circus(AAC)」をスタートした。

毎年秋の約 1 カ月間、世界各国のアーティストが淡路島に滞在し、パントマイムやアクロバット、コンテンプラリーダンスなど、パフォーマンスを披露する。淡路市、洲本市、南あわじ市の会場で開催されるメインプログラムをはじめ、1 日特別イベントや地元小学校とのコラボレーション、島内ホテルでの出張公演といった異文化交流も行っている。2018 年は岡山県久米南町の地方創生イベント「TANADA YOGA in 上臼棚田」での出張公演など、4 カ所の島外イベントにも参加した。

また、アーティストは島の魅力を国内外へ発信する役割も担っている。伊弉諾神宮の訪問や和太鼓体験、淡路人形浄瑠璃の鑑賞など、淡路島の歴史や日本文化を深く理解できる文化プログラムに参加し、SNS を通して母国語と英語で日々発信を行う。帰国後もブログや Facebook への体験談の掲載や、アーティスト同士による共同パフォーマンスなど、AAC をきっかけに交流が続いている。

2019 年は「Tohoku Art Circus」として 3 日間東北でもイベントを実施。今後は淡路島をハブとして、日本全国の地方創生に取り組んでいく。

【評価ポイント】

- 活動を通して、島内外で人と人が交流するしくみを創出し、地域の活性化に寄与している。
- 社会課題の解決に向けた独自の取り組みにより、島の新たな文化をつくる勢いがある。



各会場では、2～3 組のアーティストが幅広いジャンルのパフォーマンスを披露する
(アクロバティックロックンロール「Dance Club Positive」)



アーティストの和太鼓体験の様子。島での日々の体験は、7 カ所以上に配信される。

●企業プロフィール [2019 年 5 月現在]

本社所在地	: 東京都千代田区	資本金	: 50 億円
創立年	: 2007 年（創業 1976 年）	従業員数	: 9,317 名
主な事業	: 人材派遣、人材紹介、委託・請負、教育・研修、地方創生ソリューション他		
URL	: https://www.pasonagroup.co.jp/		

■「メセナアワード 2019」受賞活動の紹介

優秀賞： 花とアートの森あわせ賞
六花亭製菓株式会社
六花の森の企画・運営

北海道河西郡中札内村、帯広空港から車で 20 分ほど行くと、「六花の森」が見えてくる。約 10ha の広大な敷地に流れる三番川と、自生していたオオバナノエンレイソウの美しさに魅かれて、六花亭が工場用地として購入したのは 1997 年のことだ。荒れ地を本来の自然の姿に戻し、緑豊かに生まれ変わらせたいと、銘菓「マルセイバターサンド」の製造工場の建設と、十勝の自然が共生する景観や文化施設づくりに、20 年以上かけて取り組んでいる。

同社の代名詞である花柄包装紙に描かれた 6 種類の「十勝六花」（エゾリンドウ、ハマナシ、オオバナノエンレイソウ、カタクリ、エゾノリュウキンカ、シラネアオイ）をはじめ、200 種類の草花が季節ごとに園内を彩るほか、築 100 年を超えるクロアチアの民家を移築・修復した 7 つの小さな建物が点在。開拓農民で山岳画家であった故・坂本直行氏の「坂本直行記念館」や同氏が描いた「花柄包装紙館」、児童詩誌「サイロ」の表紙絵を飾った「サイロ五十周年記念館」などの作品館がある。2007 年から一般開放を始め、毎年約 5 万人が訪れる。

さらに、中札内村の景観保全や地域文化の醸成にもより力を入れている。2000 本のエゾヤマザクラを寄贈し、新たな桜の名所となっている「桜六花公園」や、2016 年には中札内村・帯広市・観光協会が共催して「花咲くコンサート」をスタート。園内で開かれる夏の風物詩として、地元住民に定着しつつある。

草花の手入れや川の清掃など、地道でいいねいな作業には村への感謝が表れている。季節の移ろいと大きな時間の中で、これからも長く愛される森に進化し続けていく。

【評価ポイント】

- 十勝の原風景を愛し、長い年月をかけて美しい自然と文化の営みを調和させ、地域に貢献している。
- 活動の知見を活かして行政と連携し、地域住民の心の豊かさと文化の醸成に寄与している。



構想から 10 年、ようやく緒に就いた「六花の森」がオープン



中札内村の一大イベントに定着した「花咲くコンサート」

●企業プロフィール [2019 年 4 月現在]

本社所在地	: 北海道帯広市	資本金	: 1 億 3150 万円
創立年	: 1933 年	従業員数	: 1,326 名
主な事業	: 和洋菓子製造販売・美術館運営		
URL	: http://www.rokkatei.co.jp/		

■「メセナアワード 2019」受賞活動の紹介

特別賞： 文化庁長官賞
キヤノン株式会社
綴プロジェクト

「綴プロジェクト（正式名称：文化財未来継承プロジェクト）」は、キヤノンと京都文化協会が共同で、国内外にある日本古来の文化財の高精細複製品を制作し、オリジナル作品を保存しながら、その高精細複製品による有効活用を目的に立ち上げたプロジェクト。開始から10年を経て、葛飾北斎や俵屋宗達、雪舟といった貴重な文化財を、全国の所蔵者および海外に渡る前に所有していた寺社や地方自治体などへ、50作品以上寄贈してきた。

プロジェクトは技術開発のレベル向上に寄与し、技術者のモチベーションやチャレンジ精神の育成にもつながっている。2017年には画像解像度を2倍に引き上げ、より高精細に再現すると同時に、制作におけるオリジナル作品への負荷を軽減させるため、撮影時間の短縮やシステムの高速化を実現。2018年は、大英博物館が所蔵する3作品（「秋冬花鳥図」「津島祭礼図屏風」「平家物語 一の谷・屋島合戦図屏風」）を制作・寄贈した。

さらに、同年には独立行政法人国立文化財機構文化財活用センターとの共同研究プロジェクトを発足し、より多くの人々が文化財に親しみをもてるよう、幅広い鑑賞機会の提供と展示方法にも工夫を凝らす。ガラスケースを外し、畳に座って本来の屏風の鑑賞スタイルを展示室内に再現するとともに、照明の変化や映像を組み合わせ、屏風の表情を楽しめるような体験型展示を行う。東京国立博物館で開催した「松林図屏風」の展示では、約10万人が来場した。

地域の学校や公共施設では、ワークショップ型プログラムや対話型鑑賞プログラムなど、複製品によるアウトリーチ活用も広く展開。日本の美しい文化を伝え、人の心に明るい未来を綴っている。

【評価ポイント】

- NP0 や行政などと連携し、さまざまな人により深い文化体験ができる機会を創出している。
- 技術力を進歩させ、時代の流れを捉えた活動の広がりや厚みにより、文化の発展に寄与している。



貴重な文化財の高精細デジタルデータを分割撮影にて取得



教育現場で活用される高精細複製品

●企業プロフィール [2019年3月現在]

本社所在地	: 東京都大田区	資本金	: 1,747 億円 (2018 年 12 月 31 日現在)
創立年	: 1937 年	従業員数	: 25,891 名 (2019 年 3 月 31 日現在)
主な事業	: 精密機器の研究・開発・製造・販売		
URL	: https://global.canon/ja/		

■「メセナ大賞・優秀賞」トロフィー

メセナアワードでは、3年ごとに若手作家に新作トロフィーを依頼・制作しています。

2018年～2020年は作家の青木美歌氏が制作を行っています。

トロフィーは「メセナアワード2019贈呈式」（2019年11月20日[水]スパイラルホール）にて、表彰状とともに受賞各社に贈られます。



The seed of light

2018年

W155×D155×H118mm

ガラス

撮影：佐藤 茂

※写真は2018年度の作品です。

【作家プロフィール】

青木美歌（あおき みか）

平成29年度ポーラ美術振興財団在外研修員としてアイスランドにて研修。武蔵野美術大学卒業後、文化庁新進芸術家海外研修制度にてイギリスへ留学。Royal College of Art 修士課程修了。

菌類やウイルス、植物細胞等、有機的なフォルムをモチーフに、目に見えない生命の在りようをテーマとした作品を発表している。

<http://www.mikaaoki.jp>